

4. 外国語テキストの印刷 (4. が抜けていたため訂正したバージョン)

多くのプリンタは、内部に自前のフォントを持っている。パソコン上のフォントの代わりにプリンタフォントを使うことで、印刷の際にプリンタに送るデータからフォント情報を省き、プリンタへの出力の時間を早くすることができる。

しかし、日本のプリンタのプリンタフォントは日本語フォントを搭載しているため、外国語テキストを印刷する場合、モニター上では正しく表示されているのに、印刷すると文字化けが起こったり、一部の文字が印字されない、といったトラブルが起こることがある。そこで、外国語や特殊なフォントを用いた文書を印刷するときには、プリンタフォントを利用しないよう、プリンタの設定を変える (印刷時間はフォント情報をプリンタに送る分長くなるので注意)。

以下は大学のネットワーク・プリンタでの設定変更例だが、同種の設定は、やり方の違いはあれ、ほとんどのプリンタで行うことができる¹。

1. 印刷ダイアログを開き、FinePrint が選択されていることを確認し、「プロパティ」ボタンを押す。(図 1)
2. 「プロパティ」ボタンを押す。FinePrint² のプロパティダイアログが開く。
3. 「レイアウト」タブを開き、プリンタ名を確認したのち、「オプション」ボタンを押す (図 2)。
4. 「オプション」画面の「カスタム設定」を押す (図 3)。
5. 印刷をおこなうプリンタのプロパティが表示される。「レイアウト」タブの「詳細設定」ボタンを押す (図 4)。
6. 「グラフィックス」の「True Type フォント」項目を「デバイスフォントと代替」から「ソフトフォントとしてダウンロード」に変更し、「OK」ボタンを押す (図 5)。
7. 印刷範囲を指定し、「OK」を押して印刷する。

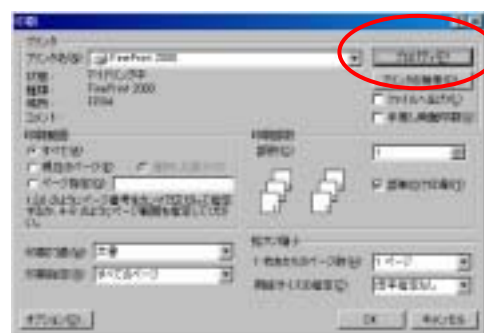


図 1

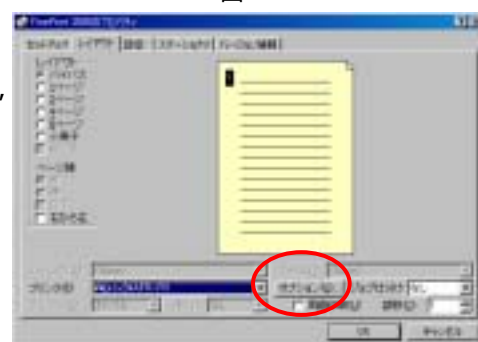


図 2



図 3

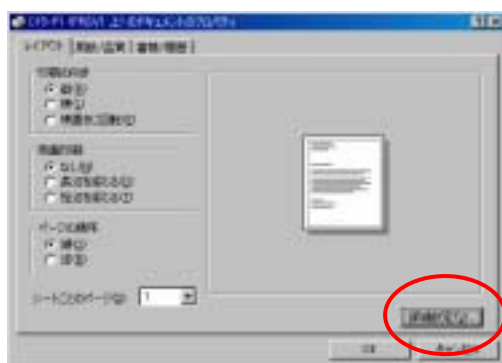


図 4

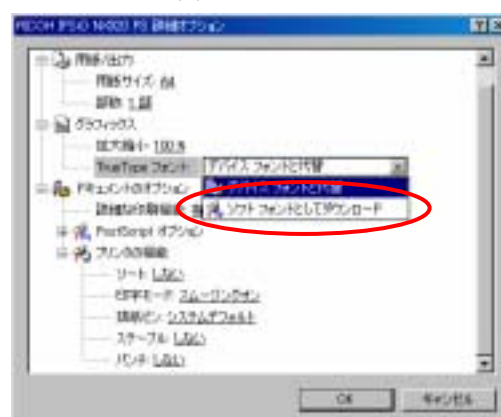


図 5

¹ ただし、「Windows 専用」と銘打たれたプリンタはプリンタフォントを搭載していないことがある。この場合フォントのデータは常にパソコンから送られ、フォントの設定のオプションがない。

² FinePrint は大学 PC で使われている印刷ユーティリティで、プリンタとパソコンのデータのやり取りを仲立ちしてくれる (通常のパソコンでは「印刷」ダイアログでプリンタを直接指定して印刷する)。FinePrint を使わずに直接プリンタを呼び出して印刷する場合、プリンタのプロパティ (図 4) は図 1 の「プロパティ」ボタンから開くことができる。